

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 南三陸町立志津川中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒988-0754  
宮城県本吉郡南三陸町志津川字助作1-1

E-mail : edu2\_shizugawa-jhs@educet01.plala.or.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 117名 女子 111名 合計 228名  
 児童・生徒の年齢 12歳 ~ 15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 志教育 地域理解 地域復興 )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 防災関係 「災害に強いまちづくりを目指そう」 1学年

### [活動のねらい]

- 様々な防災に関する活動を行うことにより、災害から自らの命を守ろうとする意識を高める。
- 様々な防災に関する活動を行うことにより、将来の災害に対する防災的な対応力や実践力を養う。
- 集団の中で自らの役割を自覚し、社会連帯の精神をもって、何事にも率先して行動する態度を育成する。

### [志教育の視点]

東日本大震災に見舞われた南三陸町に住む者として、自らの命を守り、家族や地域の人々と共に力を合わせて生き抜くことを考えさせ、地域の一員としての自覚を深め、よりよい生き方を考えさせる。

#### ① 救急救命法訓練（2時間扱い）

・体育館において、心肺蘇生法やAEDの使用法について学習した。全員が体験できるようにアンブマンを6台準備して行った。指導は、南三陸消防署の方、7人に行っていた。

#### ② 規律訓練（2時間扱い）

・集合、整列、右ならえ、回れ右等、消防の規律訓練を体験し、団結力を養うことをねらって実施した。学級を一つのチームに見立てて、学級ごとに訓練を行った。単純な気を付け、ひとつにしても、緊張感をもって取り組んでいた。

#### ③ 軽可搬ポンプ操法訓練（2時間扱い）

・消防用ポンプの中で、最小の軽可搬ポンプを用いて、消防ポンプの操作法を訓練した。5人一組になり、指揮者、ポンプを操作する者、ホースを伸ばす者、筒先を持つ者など、それぞれの分担を決めて、役割毎に練習を行い、最後に、チームで一連の捜査を行った。

#### ④ 応急処置・傷病者搬送法訓練（2時間扱い）

・三角巾や身のまわりにある傘や雑誌等を用いて、裂傷、擦過傷、骨折等の応急処置法の訓練を行った。また、毛布や竹竿などを用いるなどした傷病者の搬送法についても学習した。

#### ⑤ 火焚き訓練（2時間扱い）

・炊き出し訓練の事前訓練として、かまどで火を焚く練習を行った。焚き木を作るために、鉦(ナタ)やのこぎりの使い方も体験させた。焚き付けとなる枯葉を探させて、どのような物が適切かを考えさせたり、火を着け火力を強くする方法を考えさせたりした。

#### ⑥ 炊き出し訓練（6時間扱い）

・災害時の家族を想定し、6人ずつ、10の班に分けて炊き出しを行わせた。外で、かまどを使って行う予定であったが、当日が雨であったので、調理室で行った。ひとつの鍋を使って、ご飯と豚汁を作らせた。まず、ご飯を炊かせ、それをおにぎりにし

てストックさせ、鍋を軽く洗って、豚汁を作らせた。どの班でも、協力しかわり合  
いながら、工夫しておいしい豚汁を作ろうと努力した。



⑦ 防災新聞の作成（10時間扱い）

・防災に関する活動について、一人一人個人新聞にまとめる。事実のみをまとめるの  
ではなく、疑問や気付いたこと考えさせられたことなど入れてまとめを行わせた。



志教育 地域理解 地域復興 「福興市参加」3学年

「活動のねらい」

総合的な学習の時間の取り組みの一つで、職業体験奉仕活動を地域産業への参画とし  
ておこなうものである。町の復興のために力を尽くす社会人の中に入って就労経験をする  
ことで、将来に向けての志を育むものとする。

「志教育の視点」

「福興市」で働く社会人とのかわりを通して、就労観とともに、町の復興のために自ら  
の役割を考え果たそうとする姿勢を育む。

1 「福興市」の計画と生徒の役割分担についての打ち合わせ

○生徒の役割

- ・ステージでの司会進行

- ・PA（音楽機器）の操作の手伝い
- ・40店舗に2～3ずつの販売手伝い
- ・本部店舗による運営の手伝い
- ・会場準備と後片付けの手伝い

○ステージ最後での学年合唱披露

○生徒の安全や移動等に関する打ち合わせ

## 2 「福興市」当日

- 全体打ち合わせ（「福興市」実行委員と直接）
- 出店準備（店舗毎に生徒本人があいさつをして開始）
- 販売手伝い，ステージ進行手伝い（終日）
  - \*本部テントでは、PR プリントの配付やくじ引きの手伝い
- 生徒全員による合唱
- 後片付け手伝い（テント等の撤去）
- 「福興市」実行委員との事後打ち合わせ

## 3 事後の活動

- 「福興市」に参加しての学んだ事や感じたことの作文

「福興市」に参加して 生徒作文

「福興市」に参加して思ったことは「仕事というものは、とてもたいへんだ。」ということです。私が手伝ったのは、北海道本別町から参加したお店でした。私はジンギスカンと新鮮な豆、新ジャガイモを売りました。最初は緊張してうまく手伝うことができませんでしたが、お店の人が商品売るコツをやさしく教えてくれました。私はだんだんと緊張がほぐれ、お客さんに商品を少しずつ買っていただくことができるようになりました。ジンギスカンと新鮮な豆が完売し、私はとても嬉しかったです。また、仕事の手伝いが終わった後に店の人から新ジャガイモと黒豆をいただきました。手伝いを認めていただいたようでうれしかったです。

「福興市」の最後に、3年生全員で「時を越えて」を合唱しました。聴いていた方々からアンコールをいただき、志中の伝統となっている「歓喜の歌」を歌いました。とてもうまく歌えて良かったと思います。

今回の経験を将来の仕事に役立てられたら良いと思います。あと4ヶ月で私たち3年生は卒業します。残りわずかの学校生活を大切にして、良い思い出が残せるような生活を送りたいと思います。

これからも個人的に「福興市」に参加し、少しでもよいので南三陸町の復興の力になりたいです。

学校に届いた手紙 ～志津川中学校3年生の皆様～

先月 南三陸町の福興市を訪れた者ですが、その時のことがとても心に残ったので手紙を書かせていただくことにしました。

11月の最終週に、3泊で三陸海岸を旅行しました。南三陸、気仙沼、石巻、女川、陸前高田、大船渡、釜石、大槌、山田、田老、宮古と震災の被害が大きかった町を訪れました。復興に向けて動き出している町にとって、現地での観光や買い物で出費をすれば少しでも経済的に貢献できるのではないかなと思ったからです。もちろん私の力がわずかにしかならないのは承知の上でしたが。

仙台で楽天イーグルスの優勝パレードを見てから、南三陸へと向かいました。志津川の被災状況は報道で何度も見ましたが、いざ現地に立ってみると改めて津波のむごさを実感しました。さら地と化した区画を車で通りすぎると、突如重低音と歓声が耳に入ってきました。福興市は想像を超えるほどの規模で、駐車場が満車になるほどの来客でした。「この町にこれほどまで活気に満ちた場所があるのか」ただただ驚くばかりでした。

地元の産物を使った料理を食べ、ライブを聴きました。地元の方一人一人の、南三陸へかける愛と願いと思いがその言葉の中に、商品の中に込められていることを感じました。そして、あっという間に時間が過ぎていきました。

中でも最も印象に残ったのが、3年生の皆さんによる合唱です。

歌う前に「これからの志津川を担っていくであろう私達」というコメントがありましたが、まさに皆さん自身が、一人一人が希望であり未来そのものだと感じました。私は当事者ではないので想像上での話になってしまいますが、震災による悲しみ、苦痛、悔しさ、怒り、後悔、絶望、虚無感など 計り知れない様々な思いがあったことでしょう。今でも思い出したくないこと、考えたくもないことがあると思います。様々な思いを一人一人が胸に秘め、その中で歌った「時を越えて」はこれからの新しい歩み、これから復興していく志津川を象徴するような合唱でした。町の復興が皆さんの心と体に集約されているようでした。

…中略…

3年生の皆さんも、受験を間近に控え、慌ただしい年末を迎えていることだと思います。卒業すればそれぞれが別々の道を歩むことになりませんが、地元を、志津川を、南三陸を愛する思いはいつまでもかわらずに持ち続けてほしいと思っています。現代では近所づきあいや地域のつながりが希薄になりつつありますが、福興市で皆さんが出店を手伝い、保護者や大人の方々と談笑してふれ合っている姿を見ながら、この町にはかけがえのないものがあると感じました。

「皆さんの元気と希望」「地域のつながり」「地元愛」この3つがあれば南三陸は必ずや復興していくだろうと信じています。

寒い季節になりましたが、体調管理に気をつけて、自分の進路に向かって、将来の夢に向かって日々邁進してください。私も遠くから皆さんを応援しています。そして、いつの日かまた南三陸を訪れたいと思います。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )